

平成30年度 第1回デイサービスすぱいす運営推進会議 議事録

開催日時：平成30年8月23日（木）14時00分～15時00分

開催場所：デイサービスすぱいす 2階相談室

1. 開催挨拶 管理者安藤

2. 出席者紹介

- | | |
|--------------------|----------------|
| ・我孫子市健康福祉部 | 高齢者支援課 佐々木 智浩様 |
| ・湖北台保育園 | 副園長 今井 登茂子様 |
| ・湖北台5丁目自治会 | 副会長 新井 吉博様 |
| 湖北台5丁目民生委員 | 川村 光廣様 |
| ・利用者ご家族様 | 代表 T. K 様 |
| ・ご利用者様 | 代表（体調不良の為 欠席） |
| ・デイサービスすぱいす管理者兼相談員 | 安藤 健太郎 |

計6名

3. 地域密着型通所介護運営推進会議について 管理者安藤

小規模通所介護事業所（利用定員19人未満）は、少人数で生活圏域に密着したサービスであることを踏まえ、地域との連携や運営の透明性の確保、また、市町村が地域包括ケアシステムの構築を図る観点から整合性のあるサービス基盤を行う必要がある為、平成28年4月1日から「地域密着型通所介護」として地域密着型サービスに移行されることとなりました。

地域密着型通所介護事業においては、半年に1回の運営推進会議を開催することが義務付けられています。

当事業所におきましても、定期的に開催するこの会議を通じて、より多くの地域の方に知っていただき、地域との更なる連携を図り、地域に開かれたサービスとなっていくように努めて参ります。

その他、「地域包括ケアシステム」「介護予防・日常生活支援総合事業」について説明をさせていただく。

4. 事業の目的について

管理者安藤

- ・当事業所の運営規定等の資料を交えて説明する。

5. デイサービスすぱいすについて 管理者安藤

- ・基本理念について説明をする。
- ・当事業所の想い（私たちの想い）について説明する。

「すぱいす」では対話を大切にしております。物作りのような目に見える結果としては少ないが、対話を多くしていくことで自身の存在意義を感じ、生きることへの意欲を持って頂けるように働きかけております。

6. 活動状況について 管理者安藤

- ・登録者状況（平成30年8月22日時点）

女性 29名 男性 9名 合計38名

要支援1：2名

要支援2：2名

要介護1：17名

要介護2：6名

要介護3：7名

要介護4：2名

要介護5：2名 合計：38名

平均年齢 83.9歳

- ・活動状況（平成30年3月～平成30年8月22日）

- ・3月：フラダンス鑑賞会

三線鑑賞会

防災訓練（洪水、浸水を想定した訓練）

我孫子市メール配信サービス、緊急速報メールの活用

誕生会

- ・4月：お花見ドライブ（我孫子市内お花見スポットドライブ）

外食会 岡発戸の食事処「花悠房」にて食事会

誕生会

- ・5月：保育園交流会（当事業所にて湖北台保育園園児との交流）

ハーモニカ鑑賞会（ハーモニカメイツあびこ演奏）

当事業所にて HokuHoku カフェ開催（我孫子市湖北・湖北台地区高

- 齢者なんでも相談室主催)
誕生会
- ・ 6月：保育園交流会（当事業所にて湖北台保育園園児との交流）
誕生会
 - ・ 7月：七夕会
ハーモニカ鑑賞会（ハーモニカメイツあびこ演奏）
誕生会 個別の誕生会を行う。
 - ・ 8月 夏祭り（踊り鑑賞会、盆踊り）
誕生会 個別の誕生会を行う

以下、直近の予定について説明

- ・ 9月 RUN TOMO in あびこ（認知症になっても安心して暮らせる街へ）参加予定
敬老会 予定
防災訓練 予定
誕生会 予定

7. 事故、ひやり・はっと報告（平成30年3月～平成29年8月22日）

事故報告 2件

○転倒

内容：来所時、玄関の段差にて左前方に転倒

対策：利用者様の状態把握、焦らず行動していただくような声かけ、介助者配置の徹底

○異食

内容：手指消毒時のアルコールジェルを口へ運ぶ

対策：利用者様に理解していただけるように、状況によっては、言葉だけではなく身振りも加えて説明していく

ひやり・はっと報告 2件

○利用者様がトイレから出てこられた際に、後方にふらつき倒れそうになる

対策：利用者様の状態把握、トイレの出入りの見守り、必要に応じて介助を行う

○利用者様（喫煙者）が外の喫煙席に座ろうとされた際に、横にふらつき倒れそうになる

対策：建物の出入り時、喫煙席の着席時の見守りの徹底
必要に応じて介助を行う

※ 事故報告書、ひやり・はっと報告書は記載後、スタッフルームに掲示し対応の徹底、再発防止に努めています。

8. 地域との連携

- ・我孫子市立湖北台保育園様との定期交流会
- ・湖北台5丁目ボランティアの会
- ・ほくほくカフェ（認知症カフェ）当事業所にて開催5月2日（日）
(我孫子市湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室主催)
- ・湖北台地区社会福祉協議会委員（安藤）（平成30年5月～2年間）

9. サービスの質の確保

社内（外）研修の実施（平成30年3月～平成30年8月）

- ・非常災害時の対応に関する研修（3月）
- ・医療に関する研修（4月）
- ・精神的ケアに関する研修（5月）
- ・高齢者虐待防止に関する研修（6月）
- ・感染症について 社外研修（6月）
- ・感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修（7月）
- ・生活に役立つ福祉用具や住宅改修について 社外研修（7月）
- ・ターミナルケアに関する研修（8月）
- ・その人らしい生活を支え続けるために 社外研修（8月）

10. 事業所による「抱え込み」の防止

当事業所で初めてサービス利用を開始された方で、後に他サービスと組み合わせて利用してくださっている方が3名いらっしゃいます。

11. その他

苦情件数 0件（平成30年3月～8月現在）

1.2. 出席者からの活動状況の評価、要望、助言、質疑応答について

新井様：3月の防災訓練に関して質問ですが、避難場所はどこになつてているのでしょうか？

安藤：地震や火事の場合は、湖北台中学校に避難することになつていますが、今回の訓練で想定していた洪水、浸水の場合は湖北台中学校よりも高い位置にある、湖北台東小学校を非難場所としております。

新井様：具体的にどのルートで湖北台東小学校まで行かれましたか？

安藤：最短ルートということで湖北台4号公園脇の坂道を上がり東小学校に行きました。

新井様：大雨になると4号公園の階段のある方は水が溜まるとの話があるが、坂道の方は大丈夫なのでしょうか？

K様：私はあの辺りで水の被害があったという話は聞いたことがありません。

安藤：水が溜まるまでの状態になつてしまふと車での移動は難しくなります。そうなる前に避難する為には、いち早く正確な情報を集めなければなりません。

K様：難しいところですね、緊急速報メールはJアラートが出された後に出ますし。

新井様：防災無線とか。

K様：防災無線が聞こえ辛い時には、メールの確認の方が良いと思ひますが、その時点では手賀沼は大水でしょうね。手賀沼が決壊したら、この5丁目は浸水しますから。

新井様：そうなると、避難する場所はわかっていてもどのルートで移動するのが一番安全かを考えていた方が良いですね。

K様：2丁目の方から回って東小学校の正門の方に入ったほうが良いかもしませんね。学校側とも話し合った方が良いですね。

安藤：ハザードマップには避難方向が記されていますが、2丁目方向になつていますので、それを踏まえて避難ルートを考えることも必要ですね。

川村様：今回、訓練で通られたルートは住宅街になりますが、水害時は住民もパニックで高いところに行こうとして道には大勢の人がいることが予想されます。そうなりますと、人と車の接触する危険性があるので、先程、お話をあった通り2丁目方向のバス通りを通って東小学校に向かつた方が安全だと思い

ます。5丁目に住んでいらっしゃるご高齢の方が非難する場合、4号公園脇の階段は急すぎて上がることは、難しい為、今回のルートの坂を使うか、バス通りに出るしかありませんね。

安藤：貴重なご意見ありがとうございます。9月にも防災訓練がありますので、再度、非常時を想定して2丁目のルートでの避難訓練を行いたいと思います。

川村様：利用者の方や家族からの要望などは何かありますか？

安藤：ご本人様やご家族様からこんな活動をしてほしいというご要望をいただくことがあります。極力ご要望に沿えるようにしておりますが、他のご利用者様との兼ね合いも図りながら行っております。

川村様：例えば、喫煙所をこの場所から、違う場所に移してほしいなどの要望があった場合に、どのように対応して、どのように改善したかがわかるようになっているのですか？

安藤：その場で改善できることに関しては、すぐに対応しております。過去において、改善内容を掲示しことはございませんが、ご利用様の個別のサービス提供記録やご家族様も確認される連絡ノートには必ず、ご要望の内容、改善内容等を記録、記載しております。ご要望として出してくださる方は、改善しやすいのですが、ご病気や性格などから要望として伝えることのできないご利用者様が多いと思っております。表情の変化に注意をしたり、ご自宅でのご様子等をお聞きしながら日々改善できるように努力しております。

新井様：保育園交流会に関してですが、保育園として何かメリットのようなことはあるのですか？

今井様：おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住んでいる子が少なくなってきた中で、ここでの交流を楽しみにしている園児が増えてきています。園ではもの凄く活発な子も、ここに来ると静かに交流をしているなどの違った一面が見られることも多いです。ただ、お互いに不快にならないようにしたり、怪我がないようには注意をしております。

新井様：親御さんは、どのような反応ですか？

今井様：交流会に関して園で掲示をすると、親御さんから「お家でも子供から交流会の話をしてくれる」と喜ばれていて好評です。

新井様：交流会はゲームとかをするのですか？

安藤：ゲームなどは行っておりません。手と手を触れてお話をしてもらっています。直接触れ合うことは少ないですからね。何も伝えていなくても片麻痺のご利用者様には健側で握手ができるように手を出されるなど、子供たちの持っている感覚や優しさに驚いています。その優しい思いは、ご利用者様にも伝わっているようで、とても良い表情をされています。

川村様：子供達との交流はとても素晴らしいことだと思います。私にも孫がいて孫の幼稚園にもよく行くのですが、運動会などの競技を観ていて感動的なシーンが多くあるので、高齢者の方にも観てもらっても良いのではないかと思います。

安藤：ありがとうございます。そのような機会も是非つくれればと思います。

何かご家族様からはありますでしょうか？

K様：全てお任せしている状態ですが、何かあればその都度連絡をいただけますし、私もたまに娘とデイサービスでの母の様子を見に来させてもらっていますので、特に心配していることはないです。先ほどの、運動会の見学の話がありました、とても良いことだと思いますが、気温が高くなる日が多いので、外出時は利用者もそうですがスタッフの皆さんも注意をして欲しいと思います。

安藤：ありがとうございます。もともと外出することは少ないので、外出する際には十分に注意をして参ります。普段のご様子で気になること等あればその都度ご家族様や担当のケアマネジャー様に連絡をさせていただいております。また、ご家族の方には遠慮なく見学に来ていただきたいと思っております。その方がお互いで安心ですね。

佐々木様からは何かありますでしょうか？

佐々木様：皆さんの満足度の高さを感じましたが、これからも地区のなんでも相談室と協力していただき、利用者が満足、家族も満足するようなサービス提供をしていただきたいと思います。

安藤：ありがとうございました。今後も更に地域に溶け込んでいくように努力し、皆様に満足していただけるようなサービス提供に努めて参ります。

その他、質問等がない為、活動状況の評価、要望、助言、質疑応答を終了とする。

13. 閉会挨拶 管理者安藤